

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2024年8月13日 (第1.0版)

承認番号	24091
課題名	エラプティブプルリーティックパピュラーポロケラトーシス (Eruptive pruritic papular porokeratosis : EPPP) の掻痒メカニズム解析
研究期間	実施許可日 ~ 2028年3月31日
研究の対象	2010年4月1日~2024年7月31日に当科で病理組織学的に播種型汗孔角化症と診断された方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報 (詳細：病理組織伝票に記載された生年月日、性別、既往歴、等) <input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名： 皮膚 ) <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他 ( )
利用予定日	開始日：実施許可日から1ヵ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	汗孔角化症という皮膚の病気は様々なタイプがありますがその中でも EPPP はとても強いかゆみをとめない、有効な治療がまだありません。EPPP のかゆみにはインターロイキン (IL) 31 というかゆみに関わる蛋白が関わっている可能性があり、患者さんの診断に用いた皮膚検体のあまりを用いて EPPP と IL31 の関連を調べます。これまで有効な治療が無かった EPPP のかゆみに新しい治療法を提唱できる可能性があります。
研究の方法	患者さんの診断に用いた皮膚検体のあまりを用いて皮膚の組織中でどういった細胞が IL31 と関わっているか、かゆみを起こす細胞である好酸球がどれくらい組織に出ているかを調べます。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所在地： 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学 担当者の所属・氏名： 皮膚科学講座 井川哲子 (研究責任者) 連絡先： 0166-68-2523 研究責任者： 旭川医科大学皮膚科学講座 井川哲子</p>

